



◆大町市

大町市は、長野県の北西部に位置し、市の北西部には北アルプスの雄大な山々がそびえ立っており、夏は登山、冬はスキーが楽しめる観光客や登山客で年間を通して賑わっています。

市の西側に観光スポットが多くあり、黒部ダムの入口である扇沢駅、天然記念物の湯俣墳湯丘、針ノ木大雪渓があります。

市の北側はスキーや釣りが楽しめる鹿島槍スキー場、ヤナバススキー場、青木湖、木崎湖があります。

【扇沢駅】

扇沢駅は、後立山連峰の大自然に囲まれた黒部ダムや、爺ヶ岳、針ノ木岳への出発点となっており、標高一、四三三メートルの高地に位置し、七〇〇台を超える自動車を収容できる駐車場を完備しています。

この駅はトローリーバスで黒部ダムへ通じており、長野県と富山県を結ぶ黒部立山アルペンルートの中継点として、年間

百万人の観光客が利用しております。

このトローリーバスは、どこにでもあるようなバスを使用していますが実は鉄道に区分される珍しい乗り物で、国内唯一であり、関電トンネルと立山トンネルで運行されています。

【針ノ木大雪渓】

日本三大雪渓の一つである針ノ木大雪渓は夏にはほとんど消えてしましますが、春は大雪渓を通りながら針ノ木岳へ約四時間の登山を楽しめます。



爺ヶ岳付近から望む針ノ木岳

【高瀬渓谷】

高瀬川には、東京電力の高瀬ダムがあり、その上流には墳湯丘（高瀬渓谷の墳湯丘と球状石灰石）があります。

高瀬ダムは黒部ダムに次ぎ日本第二位の一七六メートルの高さを誇る巨大なロック

フィルダムです。その上流に、大正十一年に国天然記念物に指定された墳湯丘があり、高瀬川と水俣川の合流点近くに位置し、高瀬ダムから徒歩約二時間程度で行くことができます。

この墳湯丘は常に温泉が中心部から噴出し、未だに成長しており墳湯丘の出来上がる様々なステージを観察することができます。



墳湯丘（球状石灰石）

【大町山岳博物館】

この博物館はメインテーマを「北アルプスの自然と人」とし、山岳文化と人のつながりを探求した国内有数の博物館となっています。

ここでは様々な動物を飼育しています。特に珍しいのはスバルバルライチョウとニホンライチョウの二種類を飼育しているところです。



ニホンライチョウ

スバルバルライチョウは、ニホンライチョウの保護増殖に寄与するための繁殖技術の確立を目的として飼育されており一般公開もされていません。

ニホンライチョウは、環境省が「ライチョウの保護増殖事業」の一環として日本動物園水族館協会と連携してニホンライチョウ生息域外保全に取り組みしており、平成二十七年から個体数が比較的安定している乗鞍岳から卵を採取し、博物館の動物園で人工ふ化・飼育を開始しています。

アクセス方法

【交通機関】

扇沢駅・JR大糸線信濃大町駅下車（路線バスで四十分）
大町山岳博物館・JR大糸線信濃大町駅下車（徒歩二十五分）